

## 第 215 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2021 年 9 月 17 日（金）午前 9 時 58 分～12 時 00 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、小浪尊宏、土屋貴裕、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																					
1. 前回議事概要の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事概要案が承認された。</li> </ul>																					
2. 「積算資料」10 月号土木系資材の価格変動の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査対象資材のうち、10 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;">&lt;品目&gt;</th> <th style="text-align: center; width: 20%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td style="text-align: center;">全国</td> <td>需要は中小物件向けの引き合いが徐々に増え、在庫の調整が進んでいる。メーカーは原材料コストの増加を背景に強気な販売姿勢を堅持、流通側も逆ざやを回避すべく販売価格へ転嫁を進め、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">札幌</td> <td>原材料、輸送コスト等増加を理由に組合は今年 4 月契約分より値上げを打ち出す。7 月以降需要の本格化に合わせ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">さいたま</td> <td>原材料コスト等増加を理由に組合が一昨年 1 月より打ち出した値上げの積み残し分について、需要期を迎えた夏場以降、売り腰を強めた結果、安値が切り上がり、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">富山</td> <td>原材料、輸送コスト等増加を理由に組合は昨年 7 月契約分より値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、今年 4 月以降、需要の減少に危機感を強めた非組合員も値上げに追随し、値上げ交渉が進展して、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td style="text-align: center;">金沢</td> <td>出荷量減少、原材料、輸送コスト増加を理由に組合は今年 1 月契約分より値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、非組合員の影響が少ない中、ここへ来て大型建築工事案件を中心に値上げの一部が浸透し、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した資材】</b>			H形鋼	全国	需要は中小物件向けの引き合いが徐々に増え、在庫の調整が進んでいる。メーカーは原材料コストの増加を背景に強気な販売姿勢を堅持、流通側も逆ざやを回避すべく販売価格へ転嫁を進め、市況上伸。	生コンクリート	札幌	原材料、輸送コスト等増加を理由に組合は今年 4 月契約分より値上げを打ち出す。7 月以降需要の本格化に合わせ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	さいたま	原材料コスト等増加を理由に組合が一昨年 1 月より打ち出した値上げの積み残し分について、需要期を迎えた夏場以降、売り腰を強めた結果、安値が切り上がり、市況上伸。	生コンクリート	富山	原材料、輸送コスト等増加を理由に組合は昨年 7 月契約分より値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、今年 4 月以降、需要の減少に危機感を強めた非組合員も値上げに追随し、値上げ交渉が進展して、市況上伸。	生コンクリート	金沢	出荷量減少、原材料、輸送コスト増加を理由に組合は今年 1 月契約分より値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、非組合員の影響が少ない中、ここへ来て大型建築工事案件を中心に値上げの一部が浸透し、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																				
<b>【上伸した資材】</b>																						
H形鋼	全国	需要は中小物件向けの引き合いが徐々に増え、在庫の調整が進んでいる。メーカーは原材料コストの増加を背景に強気な販売姿勢を堅持、流通側も逆ざやを回避すべく販売価格へ転嫁を進め、市況上伸。																				
生コンクリート	札幌	原材料、輸送コスト等増加を理由に組合は今年 4 月契約分より値上げを打ち出す。7 月以降需要の本格化に合わせ売り腰を強めた結果、安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。																				
生コンクリート	さいたま	原材料コスト等増加を理由に組合が一昨年 1 月より打ち出した値上げの積み残し分について、需要期を迎えた夏場以降、売り腰を強めた結果、安値が切り上がり、市況上伸。																				
生コンクリート	富山	原材料、輸送コスト等増加を理由に組合は昨年 7 月契約分より値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、今年 4 月以降、需要の減少に危機感を強めた非組合員も値上げに追随し、値上げ交渉が進展して、市況上伸。																				
生コンクリート	金沢	出荷量減少、原材料、輸送コスト増加を理由に組合は今年 1 月契約分より値上げを打ち出す。当初交渉は難航したが、非組合員の影響が少ない中、ここへ来て大型建築工事案件を中心に値上げの一部が浸透し、市況上伸。																				

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	クラッシュラン、 コンクリート用砕石	<p>松山</p> <p>製造コスト、運搬コスト増加を理由に最大シェアのメーカーが今年1月より値上げを打ち出す。今年度入り後、好調な需要を背景に他のメーカーも追随し徐々に値上げが浸透して、市況上伸。</p>
	PHC パイル	<p>近畿</p> <p>需要減少、人件費上昇からパイプ協組は 2017 年に値上げを打ち出したが、非組合員との競合もあり交渉は難航。その後の原材料、運搬コスト増加を受け非組合員メーカーも今年 4 月以降値上げに追随し、市況上伸。</p>
	再生加熱アスファルト混合物	<p>札幌</p> <p>今年度に入りストアス価格の続伸を受けたメーカー各社は値上げを表明。需要期を迎え売り腰を強めるメーカーに対し、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</p>
	再生加熱アスファルト混合物	<p>大津</p> <p>ストアス等の原材料、運搬コスト増加を理由にアスコン事業協組は今年 4 月より値上げを打ち出す。6 月以降非組合員メーカーも追随して足並みが揃い、値上げの一部が浸透して、市況上伸。</p>
	再生加熱アスファルト混合物	<p>和歌山</p> <p>高速道路工事等で需要堅調な中、ストアス等の原材料、運搬コスト増加を理由にメーカー各社は今年 4 月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</p>
	ストレートアスファルト	<p>全国</p> <p>ストアス価格算定期間内の中東産原油価格は上昇。元売製油所の稼働率は依然低く、年末の繁忙期に需給ひっ迫懸念がある中、安定供給を優先する道路舗装会社がディーラーの値上げを受け入れ、市況上伸。</p>
	鉄筋コンクリート U 形 自由勾配側溝	<p>札幌</p> <p>需要減少と製造コスト等増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、更なる原材料コスト増加を受け、売り腰を強めた結果、値上げの一部が浸透し、市況上伸。</p>

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
<p>○ストレートアスファルトの価格が上昇している一方、軽油価格は下落しているが、今後の見通しは。</p>	ヒューム管外圧管 B形1種	<p>松江 県内で唯一のメーカーが運搬コスト増加を理由に今年1月より値上げを打ち出す。他県からの流入はほぼ見られないため、夏の工事最盛期を迎え新価格が浸透し、市況上伸。</p>
	ヒューム管外圧管 B形1種	<p>岡山 県内にメーカーはなく最大シェアの島根県のメーカーが運搬コスト増加を理由に今年1月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</p>
	コンクリート積み ブロック	<p>前橋 原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月頃より値上げを打ち出す。災害復旧工事向けに比べ、市街地向けは値上げの浸透が遅れていたが、今年度発注工事から浸透が進み、市況上伸。</p>
	ネットフェンス	<p>全国 メーカー各社は鋼材価格上昇を理由に今年4月以降、値上げを打ち出す。鋼材市況が引き続き上昇基調にある中、メーカー各社の足並みが揃い、徐々に新価格が浸透して、市況上伸。</p>
	【下落した資材】	
	鉄スクラップ	<p>全国（大阪除く） 国内の発生量は、依然低調に推移。海外需要は東南アジアでの新型コロナウイルス感染再拡大や日本産スクラップの割高感から減少し、国内需給はやや緩和。電炉メーカーは段階的に購入価格を引き下げ、市況下落。</p>
軽油	<p>全国 8月の中東産原油価格は中旬にかけて下落後、戻す展開となったが月間ではやや下落。販売会社は採算重視の姿勢から元売卸価格の下落分ほどではないものの販売価格を引き下げ、市況下落。</p>	
	<p>・中東産原油は1バレル70ドル近辺を高値安定で推移しており、軽油については、若干今月号では下落しているが、今後も高値で推移するのではないかと見ている。原油相場の先行きは若干不透明なところはあるが、ストレートアスファルトに関しては、もともと原油を処理した残留分として作られるということもあり、価格が大きく下がる要素が少ないため、今後も横ばいから強含みで推移するのではないかと見ている。</p>	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果															
<p>○生コンクリートとアスファルト混合物の説明で、出荷量が大きく減少している地区があるとのことだが、出荷量減少の理由は、</p> <p>○クラッシュランの価格は本来コンクリート用砕石より安いと思われるが、価格差がなかったり、逆転している地区は何か理由があるのか。</p> <p>3. 「積算資料」10月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・大きな要因として、日本経済全体が停滞する中で建設需要が年々減少していることがあるが、生コンクリートに関しては、施工現場の生産性向上や効率化のため、現場打ちからプレキャスト製品に切り替える動きが増えていることがある。アスファルト混合物に関しては、道路整備が進み、新設需要が少ないのが最大の要因である。</p> <p>・通常はクラッシュランのほう安くなる傾向にあるが、その地区で流通している砕石が例えば同じ山ではなくて産地が異なる、地元ではコンクリート用砕石しか製造しておらずクラッシュランは製造していないため遠方から運んでくる地区もあるので、地区事情により価格差のばらつきが生じている。クラッシュランは最近再生材に押され、主たる路盤材としての利用が乏しくなっていることから、製造しない工場も結構見られる。</p> <p>・審査対象資材のうち、10月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="625 806 1468 1590"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 817 845 851">&lt;品目&gt;</th> <th data-bbox="845 817 1085 851">[地区]</th> <th data-bbox="1085 817 1468 851">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 862 845 896"><b>【上伸した資材】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 907 845 1097">型枠用合板</td> <td data-bbox="845 907 1085 1097">全国</td> <td data-bbox="1085 907 1468 1097">産地では、活動制限令が継続されており、国内商社に対し数量を限定したうえで強気な価格提示を続けている。在庫減少が深刻さを増す中、販売業者は値上げを継続し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1131 845 1321">正角材 杉 (KD)</td> <td data-bbox="845 1131 1085 1321">全国</td> <td data-bbox="1085 1131 1468 1321">国産材は需要の7割程度を占める輸入材の代替として引き合いが集中。輸入材の入荷量が回復する見込みが薄い中、国産材の生産量には限りがあり需給ひっ迫から、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1377 845 1568">平角材 米松 (KD)</td> <td data-bbox="845 1377 1085 1568">全国</td> <td data-bbox="1085 1377 1468 1568">米国内の需要はピークを越えた感があるが、輸入量の減少、輸送コストの上昇は続いており、国内の米松取扱い最大手は再値上げを実施。供給を優先する需要者は値上げを容認し、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した資材】</b>			型枠用合板	全国	産地では、活動制限令が継続されており、国内商社に対し数量を限定したうえで強気な価格提示を続けている。在庫減少が深刻さを増す中、販売業者は値上げを継続し、市況上伸。	正角材 杉 (KD)	全国	国産材は需要の7割程度を占める輸入材の代替として引き合いが集中。輸入材の入荷量が回復する見込みが薄い中、国産材の生産量には限りがあり需給ひっ迫から、市況上伸。	平角材 米松 (KD)	全国	米国内の需要はピークを越えた感があるが、輸入量の減少、輸送コストの上昇は続いており、国内の米松取扱い最大手は再値上げを実施。供給を優先する需要者は値上げを容認し、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)														
<b>【上伸した資材】</b>																
型枠用合板	全国	産地では、活動制限令が継続されており、国内商社に対し数量を限定したうえで強気な価格提示を続けている。在庫減少が深刻さを増す中、販売業者は値上げを継続し、市況上伸。														
正角材 杉 (KD)	全国	国産材は需要の7割程度を占める輸入材の代替として引き合いが集中。輸入材の入荷量が回復する見込みが薄い中、国産材の生産量には限りがあり需給ひっ迫から、市況上伸。														
平角材 米松 (KD)	全国	米国内の需要はピークを越えた感があるが、輸入量の減少、輸送コストの上昇は続いており、国内の米松取扱い最大手は再値上げを実施。供給を優先する需要者は値上げを容認し、市況上伸。														
<p>4. 「土木施工単価」秋号土木工事費の価格変動の妥当性について</p>	<p>・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="1" data-bbox="625 1769 1468 2038"> <thead> <tr> <th data-bbox="638 1780 845 1814">&lt;品目&gt;</th> <th data-bbox="845 1780 1085 1814">[地区]</th> <th data-bbox="1085 1780 1468 1814">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="638 1825 845 1859"><b>【上伸した工種】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1870 845 1904">鉄筋工 (港湾)</td> <td data-bbox="845 1870 1085 1904">全国</td> <td data-bbox="1085 1870 1468 2038" rowspan="3">専門工事業者は、職人の待遇改善による人件費上昇を背景に値上げ要請を継続。港湾工事需要が堅調に推移する中、元請側が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1904 845 1937">型枠工 (港湾)</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 1937 845 1993">コンクリート打設工 (港湾)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した工種】</b>			鉄筋工 (港湾)	全国	専門工事業者は、職人の待遇改善による人件費上昇を背景に値上げ要請を継続。港湾工事需要が堅調に推移する中、元請側が値上げを受け入れ、市況上伸。	型枠工 (港湾)		コンクリート打設工 (港湾)			
<品目>	[地区]	(理由)														
<b>【上伸した工種】</b>																
鉄筋工 (港湾)	全国	専門工事業者は、職人の待遇改善による人件費上昇を背景に値上げ要請を継続。港湾工事需要が堅調に推移する中、元請側が値上げを受け入れ、市況上伸。														
型枠工 (港湾)																
コンクリート打設工 (港湾)																

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果									
<p>○港湾工事の市場単価が、全国一律に価格が変動しているが、そういう傾向があるのか。</p> <p>5. 「建築施工単価」秋号建築工事費の価格変動の妥当性について</p> <p>6. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・ここ数年その傾向があるが、震災後に東北地区、被災地区だけ変動したり、北海道、沖縄だけ変動したケースも過去にはあった。また、東日本、西日本で若干傾向が異なるときもあったが、ここ数年は政策的な職人の待遇改善が全国区でなされていることから、全国一斉に上昇している。港湾工事の場合、特にケーソンのような工種では、地域の業者ではなく全国をまたがって施工する業者がいる影響で、全国的に一斉に変動する傾向はある。</p> <p>・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table border="0" data-bbox="638 616 1474 929"> <thead> <tr> <th data-bbox="699 616 794 645">&lt;品目&gt;</th> <th data-bbox="954 616 1023 645">[地区]</th> <th data-bbox="1257 616 1326 645">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="651 651 820 680"><b>【上伸した工種】</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 687 836 716">絶縁ケーブル工事</td> <td data-bbox="879 687 1082 752">札幌、仙台、東京、新潟</td> <td data-bbox="1121 687 1466 929">需要は依然盛り上がりを欠いており、早期に回復する見込みは薄い。一方、銅価高騰を受け、材料価格は大幅に上昇。専門工事業者が採算重視に注力した結果、総合設備工事業者は値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・2021年10月18日(月)15時～17時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した工種】</b>			絶縁ケーブル工事	札幌、仙台、東京、新潟	需要は依然盛り上がりを欠いており、早期に回復する見込みは薄い。一方、銅価高騰を受け、材料価格は大幅に上昇。専門工事業者が採算重視に注力した結果、総合設備工事業者は値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)								
<b>【上伸した工種】</b>										
絶縁ケーブル工事	札幌、仙台、東京、新潟	需要は依然盛り上がりを欠いており、早期に回復する見込みは薄い。一方、銅価高騰を受け、材料価格は大幅に上昇。専門工事業者が採算重視に注力した結果、総合設備工事業者は値上げの一部を受け入れ、市況上伸。								

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

- 第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。
- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
  - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

- 第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 2 委員長は、委員会を代表する。
  - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。